

令和4年度（2022年度）
「中学校給食に関するアンケート」調査結果

令和5年（2023年）3月

令和4年度（2023年度）「中学校給食に関するアンケート」

【実施目的】

豊中市では、平成26年度（2014年度）4月から選択制のデリバリー方式で、段階的に中学校給食を導入し、平成28年度（2016年度）9月から全校実施となった。この度、令和4年度（2022年度）2学期より市内全校で、全員給食を開始したことから、今後の事業展開の参考とするため、生徒・保護者・教職員の意見をアンケート調査により徴収するもの。

【対象者】

豊中市立中学校に在籍する生徒、保護者、教職員

【調査時期】

令和5年（2023年）1月～2月

【調査方法について】

オンラインによるアンケートを実施
保護者には、コドモンで周知及び依頼

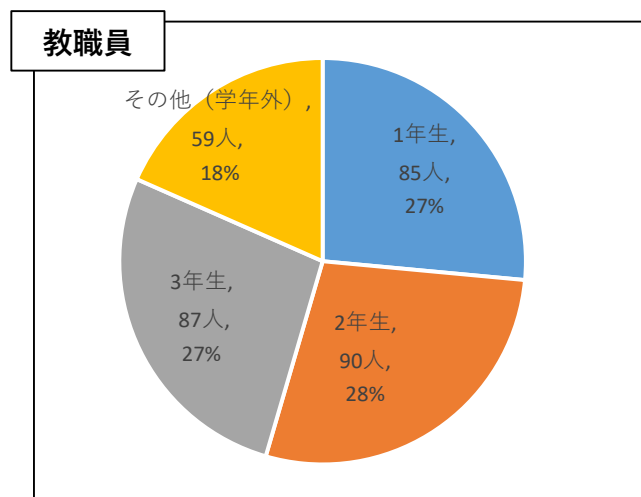
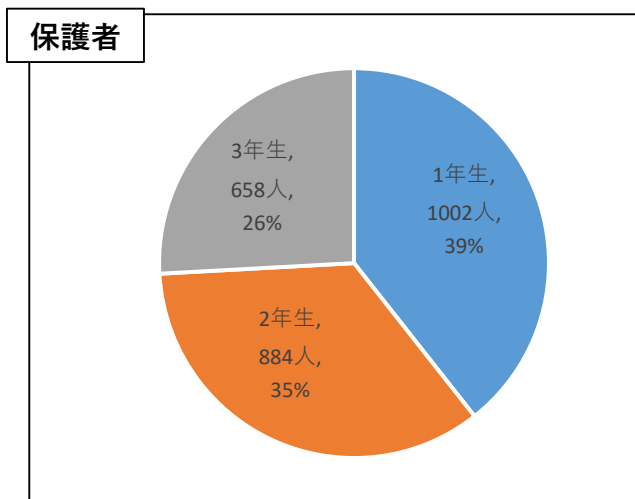
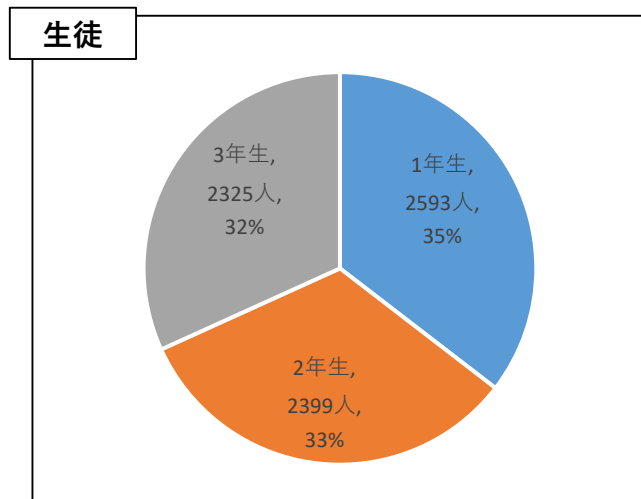
【回答率】

対象者数と回答数

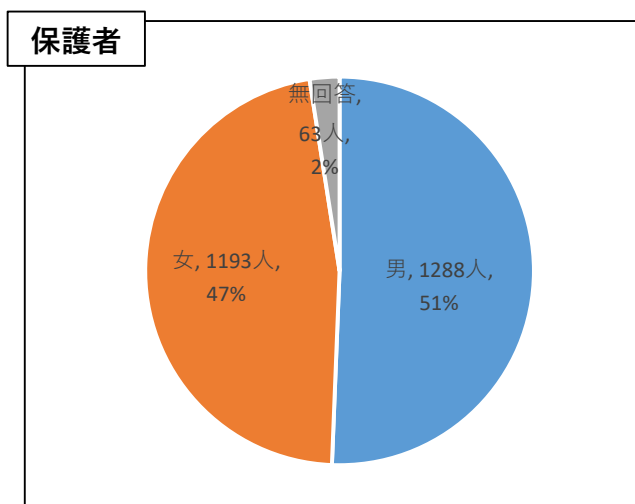
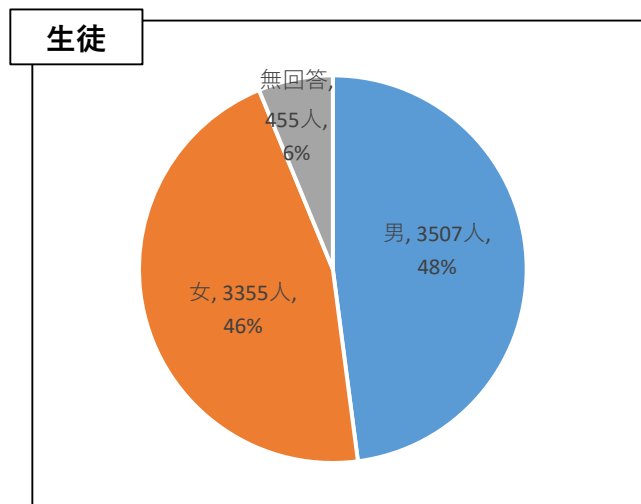
	生徒	保護者	教職員
対象者数	9,710人	※4,719人	792人
回答者数	7,313人	2,539人	318人
回答率	75.3%	53.8%	40.1%

※保護者対象者数は、コドモンで案内を送付し、既読になった人数を記載

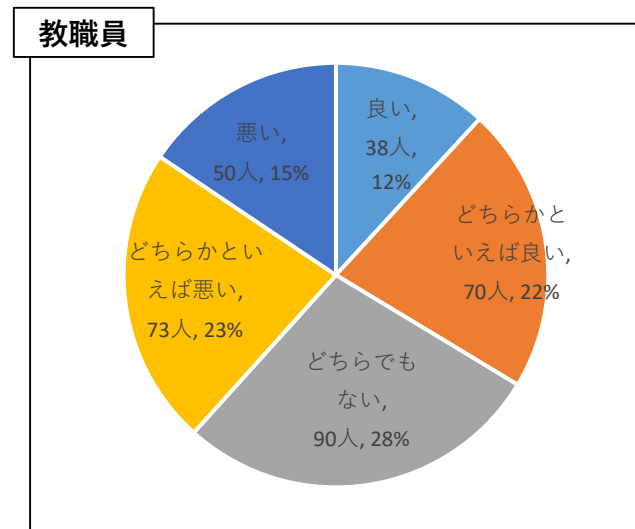
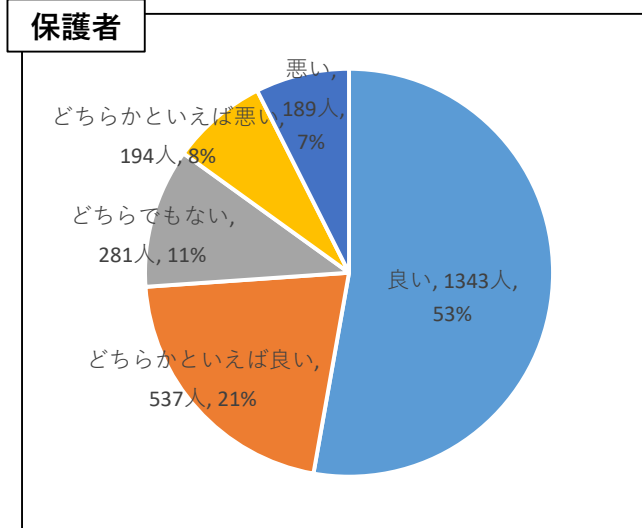
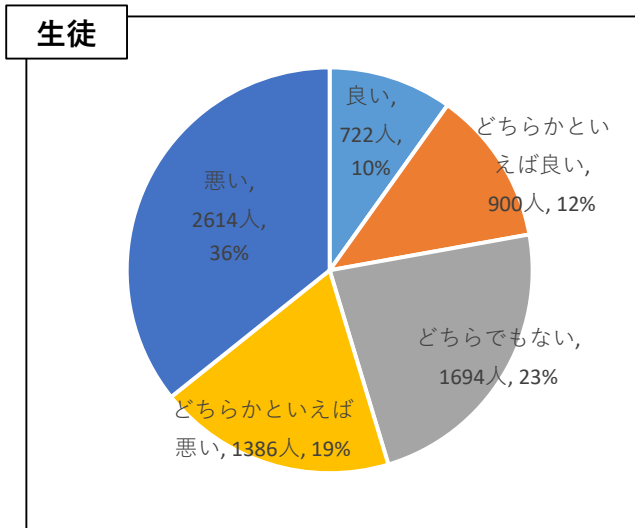
1 回答者の所属している学年(こどもの所属している学年)



3 性別(保護者はこどもの性別を記入)※教職員への質問はなし



4 全員給食になって良かったですか

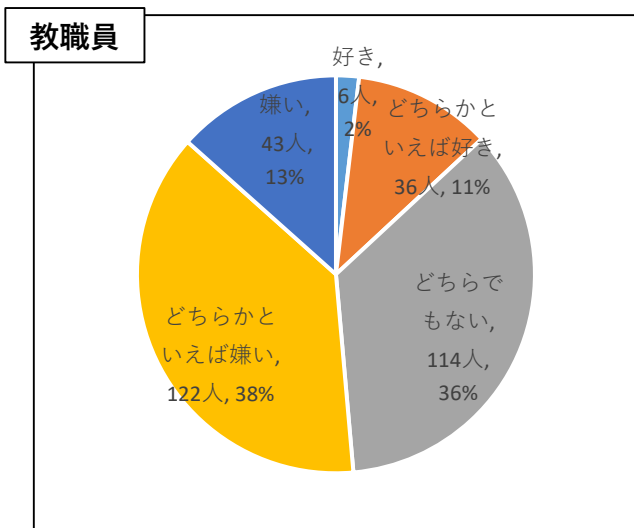
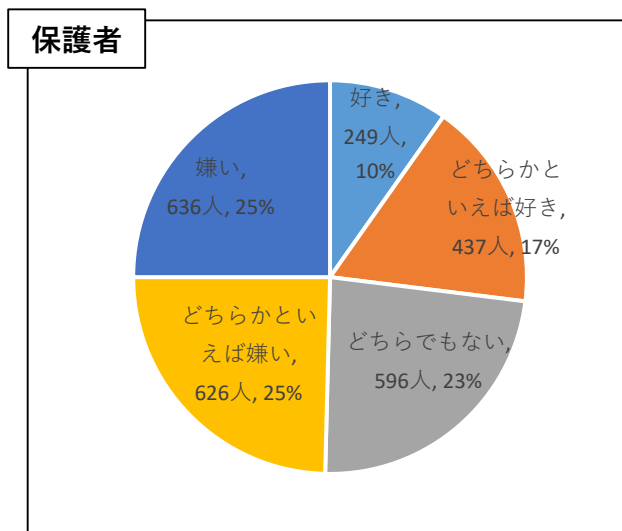
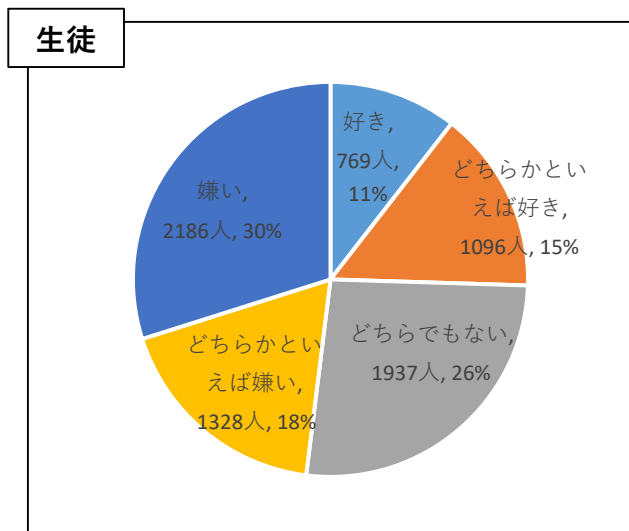


- 生徒は「良い」「どちらかといえば良い」が、約22%、「悪い」「どちらかといえば悪い」が、約55%と、「悪い」といった回答が半数を超えている事から、満足度は低い状況にある。
- 保護者は「良い」「どちらかといえば良い」が、約75%を占めており、「悪い」「どちらかといえば悪い」は約15%に留まっていることから、「良い」評価となっている。
- 教職員は、「良い」「どちらかといえば良い」が、約34%、「悪い」「どちらかといえば悪い」が、約38%と、意見が分かれる状況である。
- それぞれ回答の傾向が分かれているが、保護者以外の改善が必要である。

5 給食が好きですか

※保護者は、「お子さまは給食が好きですか」

※教職員は「生徒は給食が好きですか」

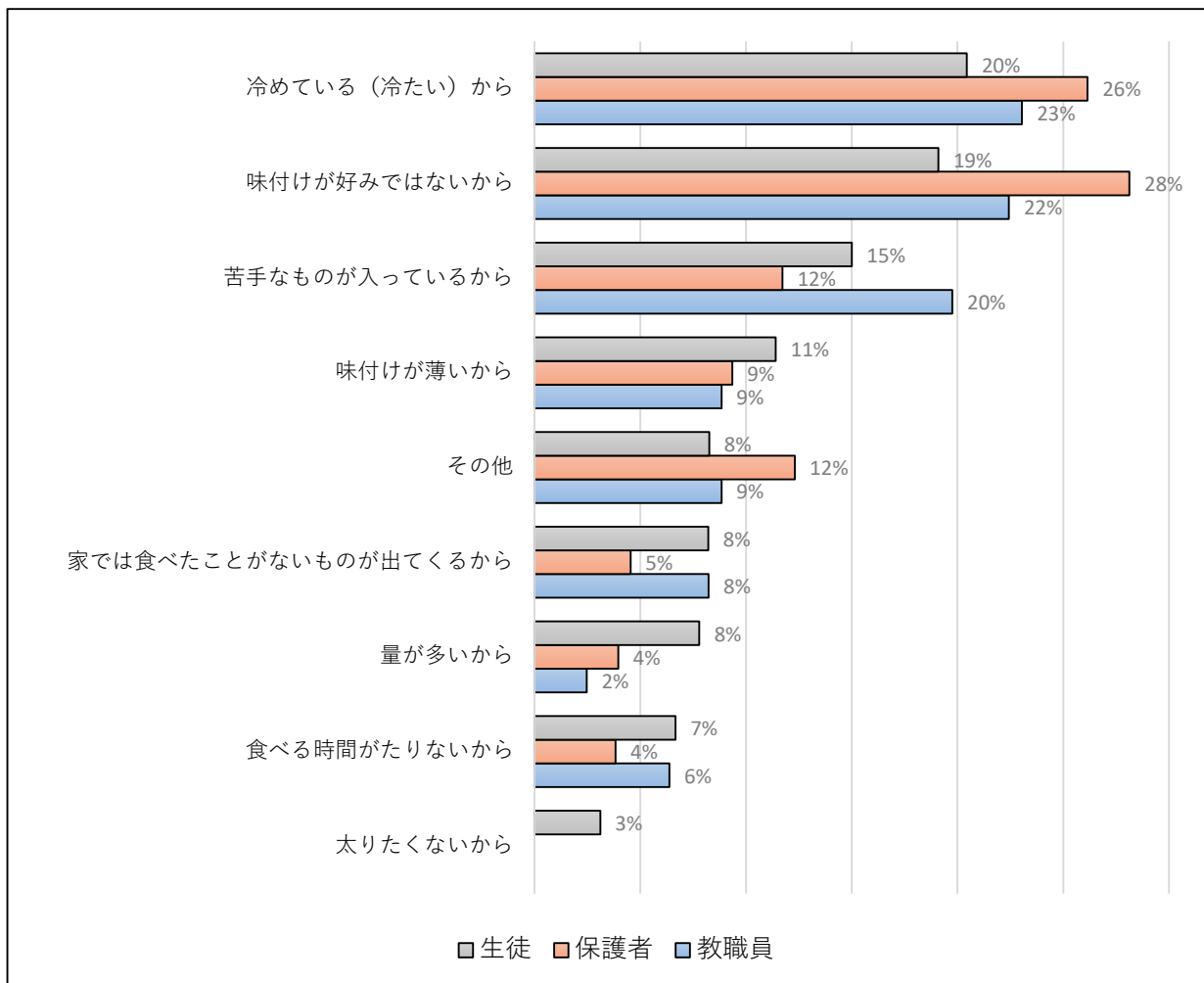


○生徒・保護者ともに、「好き」「どちらかといえば好き」が、約25%という結果になった。「嫌い」「どちらかといえば嫌い」が、約半数程度いる。

○教職員も生徒・保護者と同様の傾向ではあるが、「好き」「どちらかといえば好き」が、約13%しかなく、教職員から見た生徒の満足度は、かなり低く感じられていることが分かる。

○全体を通して、約半数が「嫌い」「どちらかといえば嫌い」と、回答している。

6「どちらかといえば嫌い」「嫌い」と答えた人にお伺いします。
 「どちらかといえば嫌い」又は「嫌い」を選んだ理由を記載してください。【%】

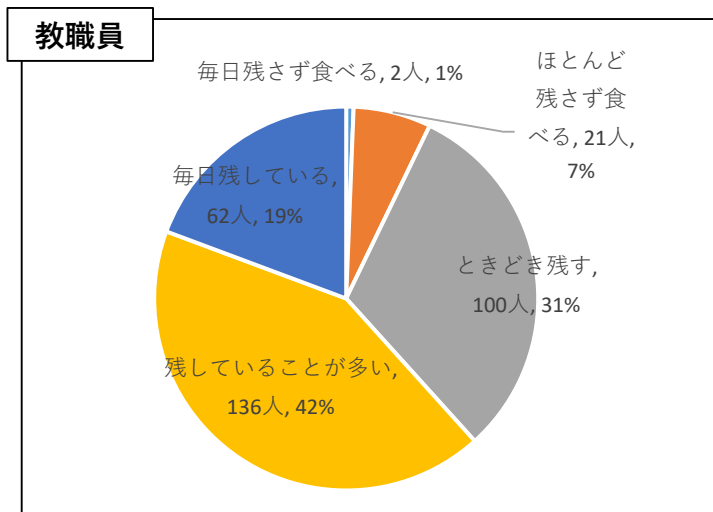
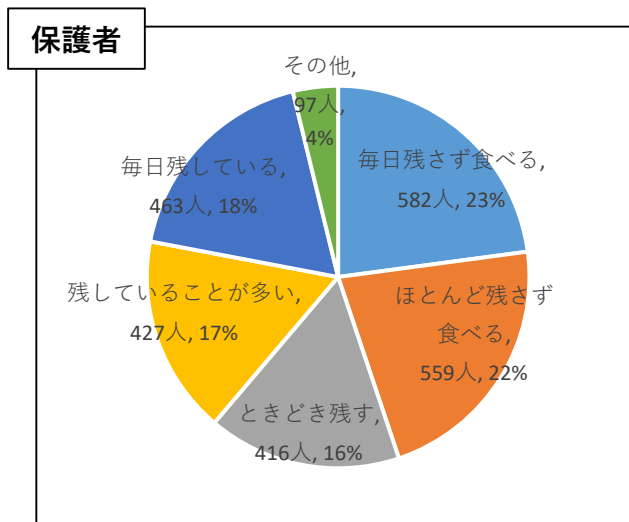
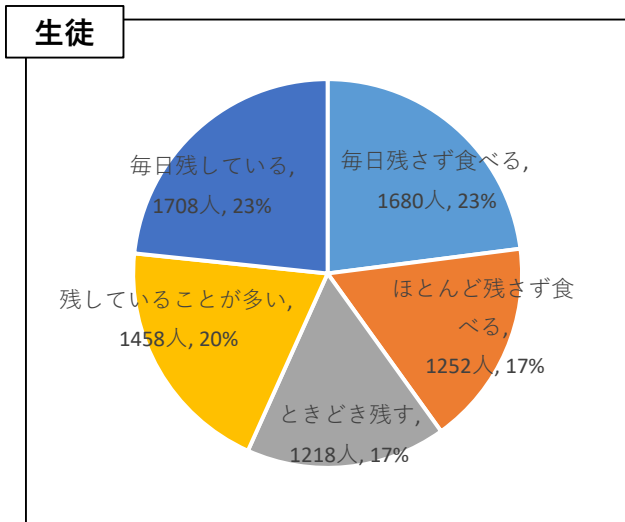


○生徒の嫌いな理由としては、冷めている (冷たい) から、というのが一番の理由であり、味付けが好みではないから、が次の理由になっている。

7 給食を全部食べていますか

※保護者は、「お子さまは給食を全部食べていますか」

※教職員は「生徒は給食を全部食べていますか」



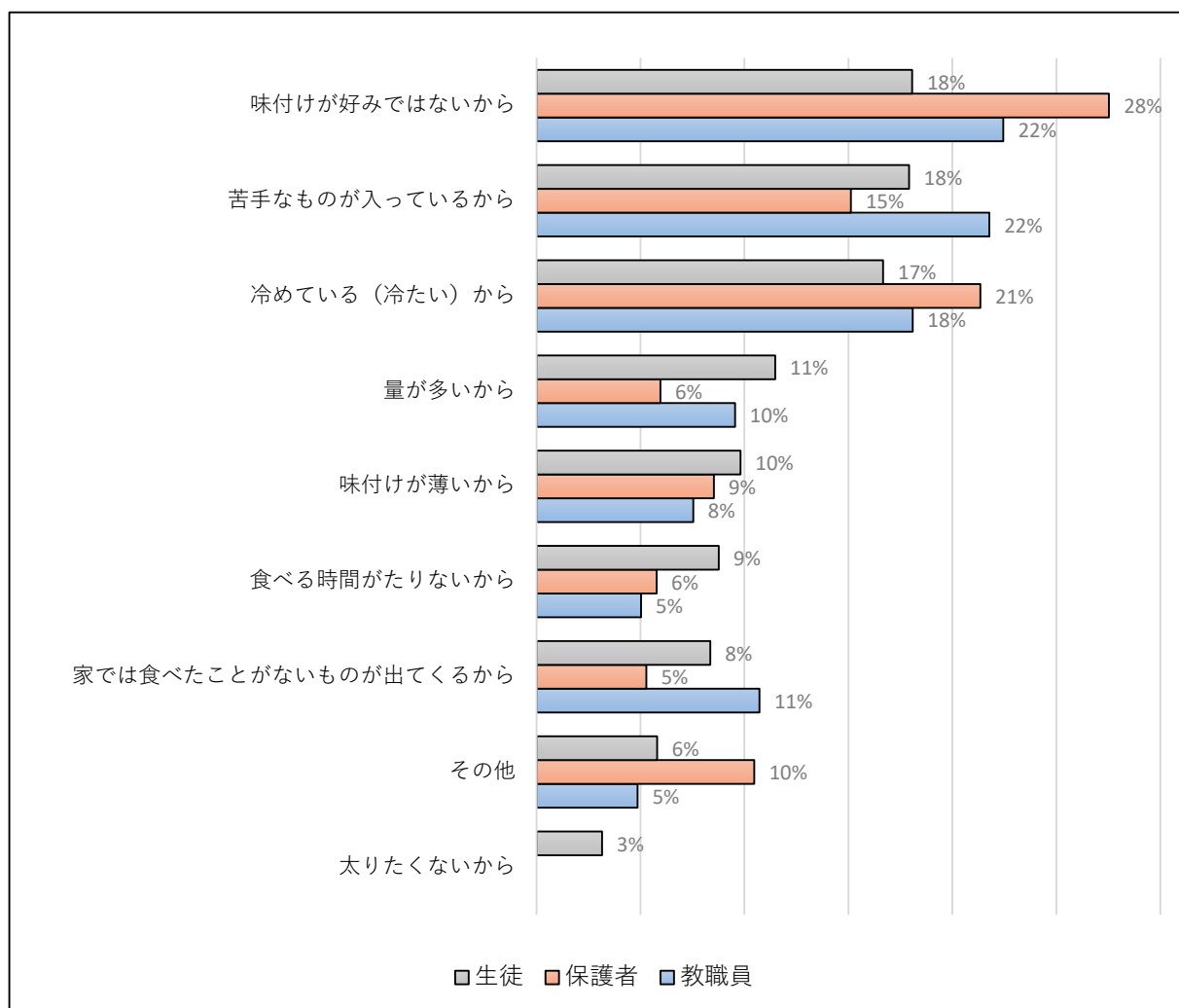
○生徒・保護者は、それぞれの回答が20%前後になっており、約60%がほぼ食べていることが分かる。しかしながら、残りの40%は残していることが多い。

○教職員は、生徒が残しているという回答が約60%となっており、生徒・保護者の回答と差がある。

このことから、生徒は、自分の分として配膳した給食は食べているが、食缶には、ご飯やおかずが残っている状態があるのではないかと推察する。

○小学校給食では、全てのおかずに対して量が調節できたが、中学校給食ではランチボックスのおかずは最初から決められた量が入っているため、食べきれない生徒は、残すことになる。

8 「残していることが多い」「毎日残している」と答えた人にお伺いします。
給食を残す理由は何ですか(複数回答可)【%】

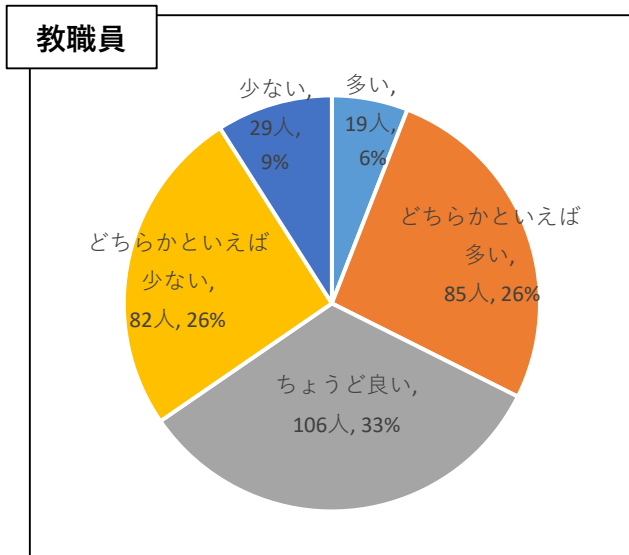
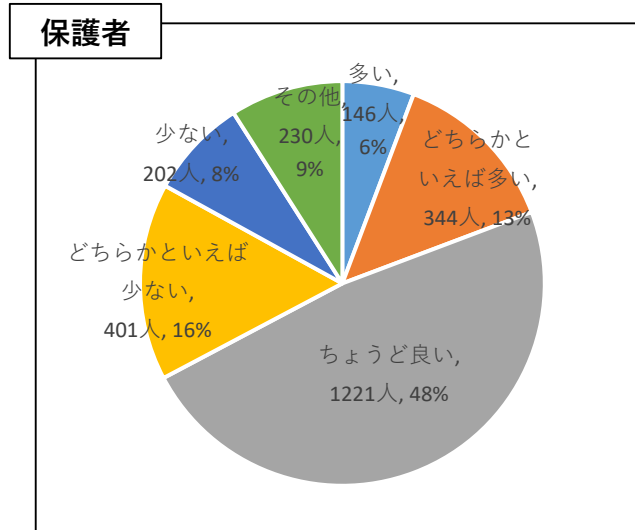
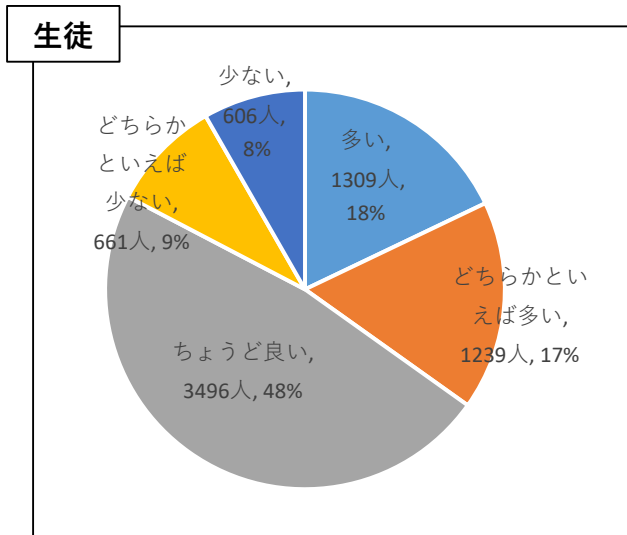


○残している理由としては、「嫌いな理由」が多かった、味付けが好みでないこと、冷たいことが多くなっているが、概ね、同じような回答となっている。

9 量はどうか

※保護者は、「お子さまに給食の量はどうか」

※教職員は「生徒にとって量は適当ですか」

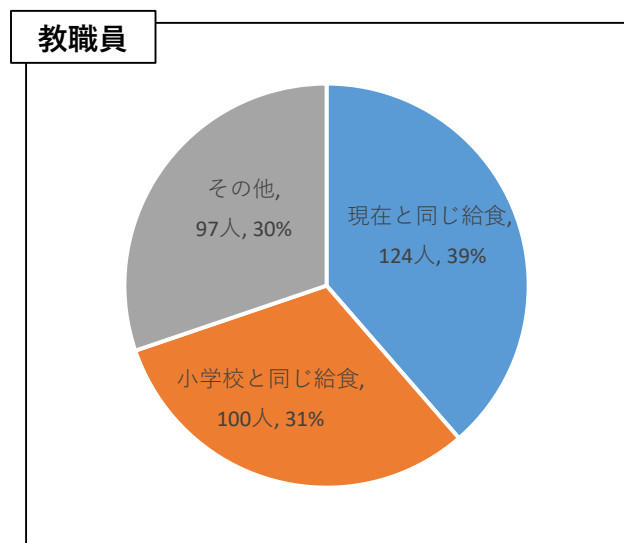
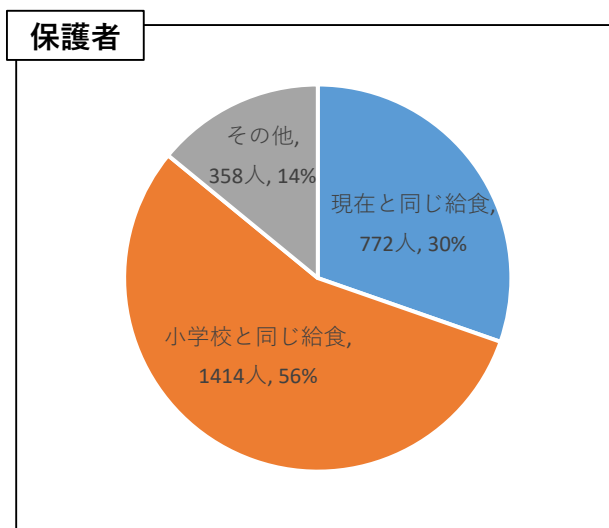
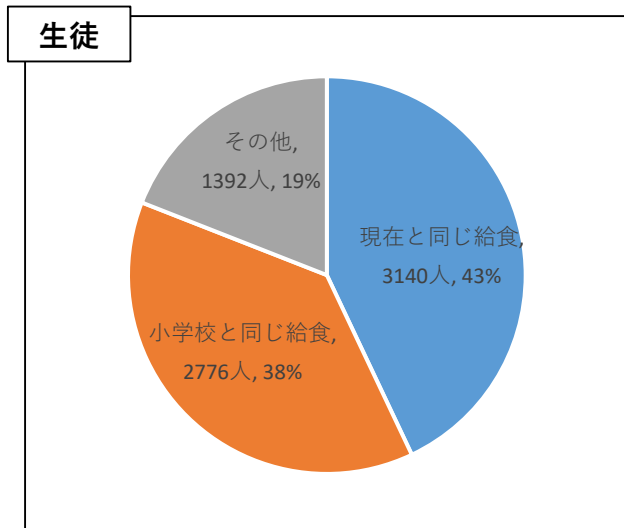


○生徒は、少ないという回答が約17%と、量としては概ね足りているという結果になっている。ただし多いという意見が約35%あり、設問7の約40%が残しているという回答と同じ傾向となっている。

○保護者も、その他を除き、生徒と同じ割合になっている。

○教職員は、多いが約3割、ちょうど良いが約3割、少ないが約3割と、意見が3等分されている。

10 どのような給食がいいですか

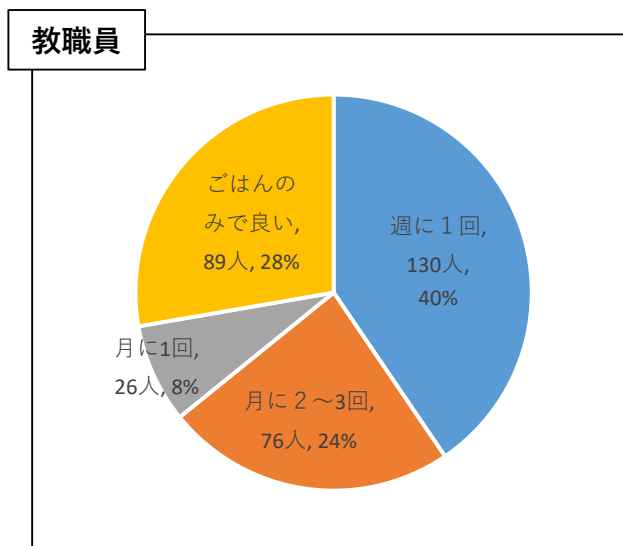
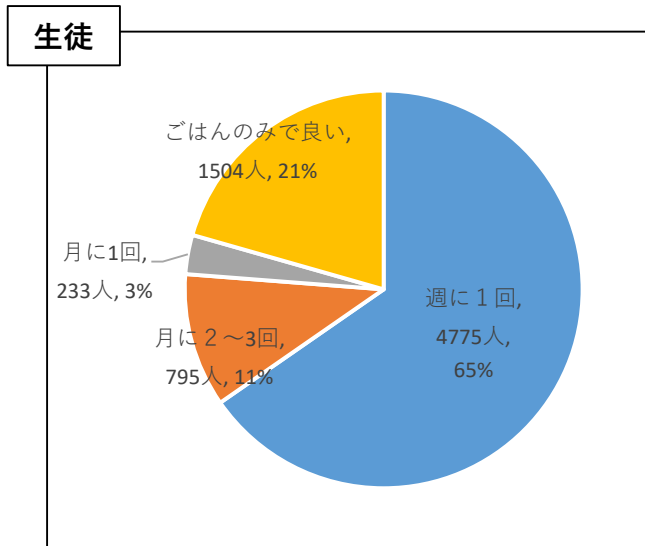


○生徒は、現在と同じ給食が約43%と現状維持を望む意見が多数であるが、小学校と同じ給食が約38%と近い割合で回答している。

○保護者は、小学校と同じ給食を望む回答が約56%となっており、現在と同じ給食は約30%となっている。

○「その他」の多くは、「お弁当持参」の希望で、全員給食開始後、一定数はお弁当に戻ることを希望している。

11 パンの提供頻度について※保護者への質問はなし



○生徒のパンの提供希望が約80%あり、パンの提供を望む声が多い。

まとめ

生徒の満足度は低く、課題は多くあるが、現在の給食の提供方法については、一定の理解があることが分かる。また、次年度から希望に合わせて、パンの提供開始を予定している。

今後も継続してアンケートなどを実施し、改善点を図りながら、中学校給食の満足度を高めていく必要がある。